

# ウリドウル病院 診療ガイドブック

お名前	
ID番号	

## ウリドウル国際患者センター(WIPC)

TEL : +82-2-2660-7695 (ソウル金浦空港) / +82-2-513-8452 (ソウル清潭)

FAX : +82-2-2660-7690 (ソウル金浦空港) / +82-2-513-8454 (ソウル清潭)

E-mail : [wipc@wooridul.co.kr](mailto:wipc@wooridul.co.kr)

<http://www.wooridul.jp>

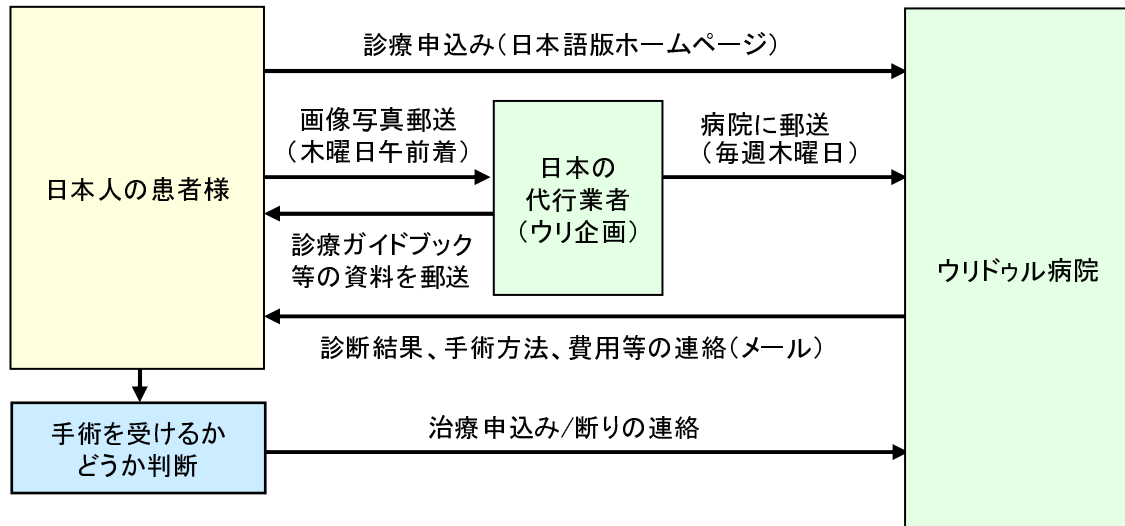
# 目 次

---

診断申込み後のスケジュール .....	4
入院日程 .....	6
入院のための準備 .....	9
パスポートの申請 .....	10
航空券の手配 .....	11
宿泊ホテルの手配 .....	12
韓国への入国と出国 .....	13
来院方法 .....	14
病院案内 .....	15
ウリドウル国際患者センター(WIPC) .....	16
病室案内 .....	17
病院内のコミュニケーション .....	18
同意書 .....	19
入院生活 .....	22
退院 .....	23
退院後 .....	25
医療費控除 .....	26
韓国の情報 .....	27
ウリドウル病院の地図 .....	28

# 診断申込み後のスケジュール

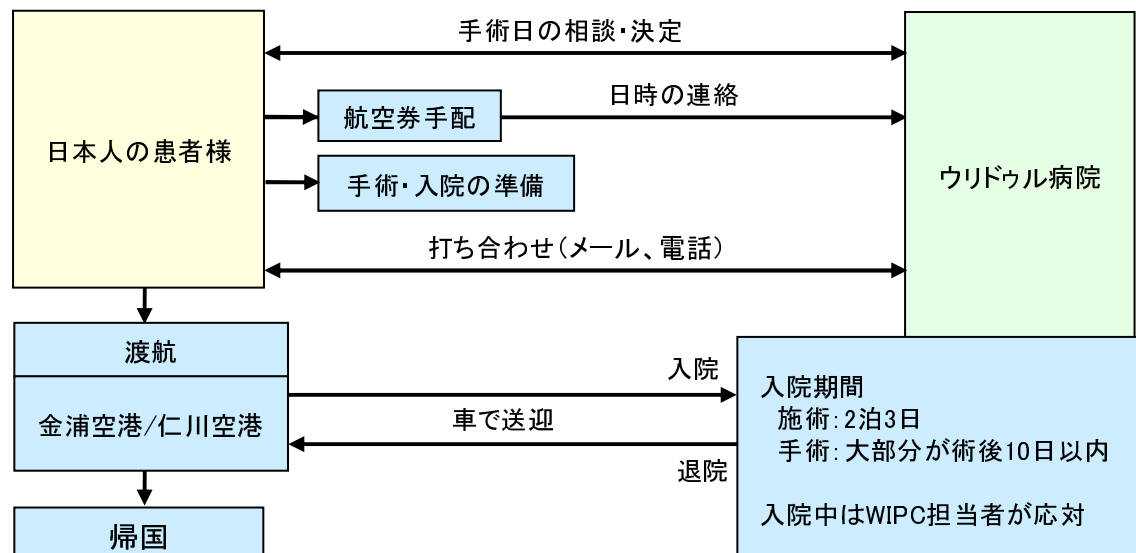
## 1. 無料診断



[診断申込み後のスケジュール]

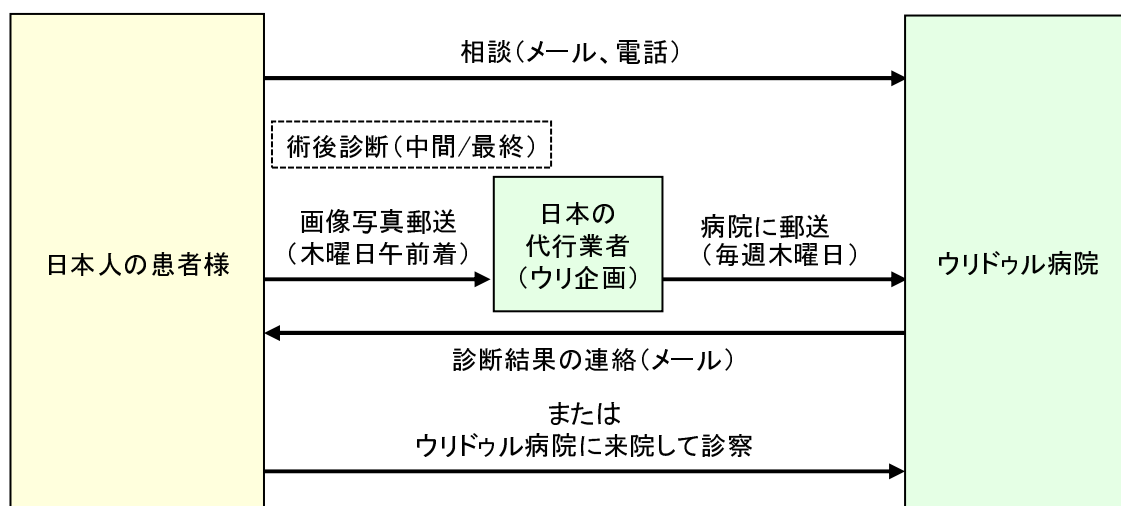
- 問診表と画像写真を基に病院で診断を行い、診断結果と施術・手術方法、費用等をメールで連絡いたします（申込み患者様が多い場合には、連絡が遅くなる場合があります）。
- 患者様は病院からの連絡結果を基に、施術・手術を受けるのか断るのかを判断していただき、病院ホームページの「施術・手術の申込み/断り」の欄から連絡していただきます。施術・手術を受けない場合も、必ずお知らせください。
- 施術・手術を受けない場合でも診断費用を請求することはありません。また、後から再度施術・手術を申し込むことも可能です。
- 診断用写真は、患者様の要望があれば返却いたします。ただし、国際郵便代は患者様の負担となります。

## 2. 入院準備～入院



- 施術・手術を申し込まれた患者様の施術・手術日は、患者様の都合の良い日にできるだけ合わせますが、早めにお知らせください。施術・手術を行う病院は、ソウル金浦空港ウリドウル病院またはソウル清潭ウリドウル病院です（希望される患者様は、釜山ウリドウル病院も可能です）。
- 患者様は入院日程に合わせて、日本の空港⇄金浦空港または仁川空港の往復航空券（帰りの時間が変更可能なもの）を手配をしていただき、その内容を、病院ホームページの「到着日、到着時間の連絡」の欄から連絡していただきます。
- 金浦空港/仁川空港から病院間は客車にて送迎いたします（往復）。
- 入院期間中は日本語が話せるスタッフがおり、コミュニケーションブック（指差しによる会話本）もありますので、言葉の心配はいりません。

### 3. 退院後



- 退院後の診断は、指定された時期に画像写真を撮影していただき、フィルムまたはデータCDを日本の代行業者(ウリ企画)に郵送していただきます。診断結果は病院からメールで連絡いたします。
- ウリドウル病院に来院していただき、診察を受けていただいても構いません。

# 入院日程

ウリドウル病院では、日本の患者様のために、椎間板ヘルニアの2泊3日の施術パッケージを用意しております。これは韓国国内における患者様のスケジュールをすべてサポートするものであり、安心して治療に専念することができます。また手術の患者様も、施術の患者様と同様の対応をさせていただきますが、疾患、手術方法、入院期間等が異なるため、個別対応とさせていただきます。

## 1. 施術(切開しない脊椎椎間板ヘルニア微細治療:MIST)を受けられる患者様

日本人患者様用椎間板ヘルニア施術パッケージ(2泊3日)

### 【対象となる施術】

腰椎	<ul style="list-style-type: none"> <li>●内視鏡レーザー腰椎椎間板ヘルニア切除術(PELD)</li> <li>●内視鏡レーザー腰椎椎間板ヘルニア成形術(PELA)</li> </ul>	【治療段階】 Step 2
頸椎	<ul style="list-style-type: none"> <li>●内視鏡レーザー頸椎椎間板ヘルニア切除術(PECD)</li> <li>●内視鏡レーザー頸椎椎間板ヘルニア成形術(PECA)</li> </ul>	
胸椎	<ul style="list-style-type: none"> <li>●内視鏡レーザー胸椎椎間板成形術(PETD)</li> </ul>	

### 【スケジュール】

1日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本の空港(羽田/成田空港他)→金浦/仁川空港 (到着時間に合わせ、出口で患者様の名前を書いた紙を持ってお待ちしています。)</li> <li>●空港→病院(ソウル金浦空港ウリドウル病院またはソウル清潭ウリドウル病院) (患者様用の客車で病院に移動します。なお、状況によって他の患者様との相乗りとさせていただきます場合もあります。)</li> <li>●病院到着後:総合検査 ①X線 ②MRI ③CT ④超音波 ⑤赤外線サーモグラフィ ⑥骨密度 ⑦筋電図 ⑧血液検査 ⑨尿検査 (一部は、翌日行う場合もあります)</li> <li>※患者さんによって追加の検査が必要な場合もあります。</li> <li>●担当医から診断結果と施術についての説明</li> <li>●病院泊(1人部屋)</li> </ul>
2日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●午前の一部検査を行う場合あり</li> <li>●午前または午後:施術(局所麻酔) (経験豊富で特に技術の優れた最上級クラス*の医師が施術を行います)</li> <li>●施術後:MRI</li> <li>●病院泊(1人部屋)</li> </ul>
3日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●午前:回診</li> <li>●退院</li> <li>●病院→空港 (患者様用の客車で空港にお送りします。なお、状況によって他の患者様との相乗りとさせていただきます場合もあります。)</li> <li>●金浦/仁川空港→日本の空港(羽田/成田空港他)</li> </ul>

\*最小侵襲施術・手術は難易度が高いため、2年以上の特別な研修と、第一助手として50回以上の手術経験があり、最小侵襲手術専門病院に5年以上勤務している上級クラスの医師のみが実施しています。その中でも、特に手術経験が豊富で、技術の高い医師が最上級クラス(特診ドクター)になります。

#### 【施術費用】

画像診断結果、手術方法を連絡する際に、併せてお知らせいたします。

#### 【備考】

##### ●宿泊の追加

ヘルニアを切除しても、圧迫されていた神経が元に戻るのには時間がかかるため、症状の回復が若干遅れる場合があります。そのため、患者様が追加の宿泊を希望される場合には、宿泊の延長が可能です。その際には追加料金が必要となります。

##### ●施術から手術への途中変更

ヘルニアの状態によって、施術と手術のどちらを選択するか判断が難しい場合があります。その際、侵襲の少ない施術を行うことにした患者様で、担当医が施術を行っている途中でヘルニアを完全に除去できないと判断した場合には、途中から手術(最小侵襲手術)に切り替えることがあります。該当する患者様には、事前にその可能性があることを説明するとともに、施術の途中で、直接患者様に確認をとらせていただきます。結果的に、2日ほど入院期間が延びますが、椎間板ヘルニアを確実に治すためには、これが最善の方法となります。なお、その際には追加料金が必要となります。

[患者様が延泊となった場合には、付き添いの方が宿泊するホテルを手配します。]

## 2.手術(最小侵襲脊椎手術:MISS)を受けられる患者様

手術方法によって、費用、入院期間等が異なるため、個別に対応いたします。

### 【対象となる主な疾患】

椎間板ヘルニア(腰椎、頸椎、胸椎)、脊柱管狭窄症など脊椎疾患全般

### 【対象となる主な手術】

観血的レーザー椎間板切除術(OLD、OLM) ニュークレオトム(吸引器)を利用した観血的椎間板ヘルニア手術(AOLD) 人工靭帯及び固定装置を利用した腰椎軟性固定術(ILF)	【治療段階】 Step 3
部分人工椎間板髄核術(PDN)	Step 4
全体人工椎間板置換術(TDR)	Step 5
微細顕微鏡レーザー頸椎椎間板ヘルニア手術(ACF) 無輸血最小侵襲脊椎骨融合術(Mini ALIF with PFF、PPF) 胸腔鏡下胸椎ヘルニア手術及び骨融合術(TOSS) 腹腔鏡下腰椎椎間板ヘルニア手術及び骨融合術(LASS) 後側腹膜腔鏡脊椎椎間板ヘルニア手術(RESS)及び骨融合術	Step 6

### 【スケジュール】

1日目	施術の場合と同じ
2日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●午前の一部検査を行う場合あり</li> <li>●午前または午後:手術(全身麻酔) (経験豊富で特に技術の優れた最上級クラス*の医師が手術を行います)</li> <li>●病院泊(1人部屋)</li> </ul>
～	<ul style="list-style-type: none"> <li>●X線撮影(手術の翌日のみ)</li> <li>●午前:回診</li> <li>●病院泊(1人部屋)</li> </ul> [入院期間は手術方法、回復の程度によって異なります。多くの患者様は術後3日以内、ほとんどの患者様は術後10日以内には退院できます。]
退院日	施術の場合と同じ

\*最小侵襲施術・手術は難易度が高いため、2年以上の特別な研修と、第一助手として50回以上の手術経験があり、最小侵襲手術専門病院に5年以上勤務している上級クラスの医師のみが実施しています。その中でも、特に手術経験が豊富で、技術の高い医師が最上級クラス(特診ドクター)になります。

### 【手術費用】

手術方法、手術部位(腰椎、頸椎など)、手術箇所(1～3カ所)により異なります  
画像診断結果、手術方法を連絡する際に、併せてお知らせいたします。

# 入院のための準備

---

## ●禁煙

手術(最小侵襲脊椎手術)の適応となった患者様は、必ず禁煙してください。手術を行う際には全身麻酔を行います。喫煙者では麻酔時に痰の量が増加し、呼吸器の合併症を起こすリスクが高くなります。

## ●基礎疾患の治療

手術(最小侵襲脊椎手術)の適応となった患者様は、事前に基礎疾患(肝障害、腎障害、糖尿病、高血圧等)の治療を行い、臨床検査値をできるだけ正常値に近づけておいてください。手術では全身麻酔となるため、臨床検査値に異常があり、麻酔科医が全身麻酔による事故の危険性があると判断した場合には、患者様の意思に関係なく手術は延期となります。

※臨床検査の異常値は軽度であればほとんど問題はありませんが、異常の程度が大きい場合には該当する診療科で診察を受け、手術しても問題がないという医師の診断書をもってください。

(診断書は、事前にファクスかメールでウリドゥル病院に送り、入院時にはご持参ください。)

## ●入院のために準備するもの

### 【衣服】

入院中は病院が用意した入院服(パジャマ)を着用しますので、入院中の衣服を用意する必要はありません。下着のみ、ご用意ください。

### 【洗面用具等】

病院では以下の洗面セットをご用意いたします。これ以外に必要と思われるものがありましたら各自ご用意ください。

- ・タオル
- ・石けん
- ・ボディーシャンプー
- ・歯ブラシ、歯みがき
- ・カミソリ
- ・コップ
- ・水入れ
- ・スリッパ

# パスポートの申請

パスポートを持っていない患者様または付き添いの方は、新たにパスポートを作る必要があります。  
パスポートの申請は、各都道府県の申請窓口で行ってください。

## 【パスポート申請に必要な書類】

1. 一般旅券発給申請書 1通 (パスポート申請窓口で入手できる)
2. 戸籍謄(抄)本 1通
3. 住民票の写し 1通 (住民基本台帳ネットワークシステムで確認可能な方は、原則不要)
4. 写真 1葉 (縦45ミリメートル×横35ミリメートル)
5. 郵便はがき 1枚 (未使用のもの)
6. 申請者本人に間違いのないことを確認できる書類 (有効な書類の原本に限る)
  - (1) 1点で良い書類  
運転免許証、船員手帳、写真付き住基カードなど
  - (2) 2点必要な書類:AとBの各1点、又はAから2点  
A 健康保険証、国民健康保険証、共済組合員証、船員保険証、国民年金証書(手帳)、厚生年金証書、船員保険年金証書、恩給証書、共済年金証書、印鑑登録証明書(登録した印鑑も必要)等  
B 次の内写真が貼ってあるもの  
学生証、会社の身分証明書、公の機関が発行した資格証明書等 (印鑑が必要な場合があります)

## 【パスポートの申請】

上記書類を全部そろえて、住民登録をしている都道府県のパスポート申請窓口で申請する。  
申請から受領までに、通常1週間程度(土・日・休日を除く)かかる。

## 【パスポートの受領】

パスポートを受け取る時には次のものを持って、本人が必ず交付(申請)窓口に行く。

1. 申請の時に渡された受理票(受領証)
2. 手数料(必要額の収入証紙及び収入印紙を受領証に貼付する)

旅券の種類	都道府県収入証紙	収入印紙	計
10年間有効な旅券(20歳以上)	2,000円	14,000円	16,000円
5年間有効な旅券(12歳以上)	2,000円	9,000円	11,000円
5年間有効な旅券(12歳未満)	2,000円	4,000円	6,000円

3. 申請の時に提出し、自宅に送られてきたはがき

(外務省ホームページより抜粋)

●詳細につきましては外務省ホームページの「パスポート Passport A to Z」をご参照ください。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/>

# 航空券の手配

患者様は、往復の航空券のみ予約していただきます。

航空券の予約は、旅行代理店(JTB、近畿日本ツーリスト、日本旅行、HIS等)で行うか、日本⇄韓国便を運行している航空会社のホームページから直接予約することもできます。

主な航空券予約サイト

## 【日本の旅行代理店】

- JTB <http://www.jtb.co.jp/index.asp?t=2>
- 近畿日本ツーリスト <http://www.knt.co.jp/kaigai/index.html>
- 日本旅行 <http://www.nta.co.jp/kaigai/>
- HIS <http://www.his-j.com/index.html>
- 楽天トラベル <http://travel.rakuten.co.jp/kaigai/area/korea/>
- Yahoo!トラベル <http://travel.yahoo.co.jp/>

## 【航空会社】

- 日本航空 <http://www.jal.co.jp/inter/>
- 全日空 <http://www.ana.co.jp/asw/index.jsp?type=i>
- 大韓航空 <http://www.koreanair.com/>
- アジアナ航空 <http://jp.flyasiana.com/Global/JP/ja/index>

到着地は、**仁川空港**または**金浦空港**(出発地は羽田空港)です。

空港に到着後、病院に移動して検査を行いますので、到着時刻が **午前中**の便の予約をお願いいたします。

海外航空券は「E-ticket(電子航空券)」になります。E-ticketとは、従来の紙の航空券に記載されていた出発日、便名等の情報を、予約端末に電子的に記録することにより、空港のチェックインカウンターで航空券を提示せずに搭乗券を受け取ることができる電子的な航空券のことです。

E-ticketの用意ができると、旅行代理店、航空会社から「E-ticket確認書(名称は、E-TICKETお客様控え、E-TICKETPASSENGER ITINERARY RECEIPTなど)」に関するメールが送られてきます。それをプリントアウトして、当日空港のチェックインカウンターで提示すれば、搭乗券を受け取ることができます。その際、クレジットカードの提示を求められることもあります。「E-ticket確認書」は、行きと帰りの両方で搭乗券を発券する際に提示する必要がありますので、滞在中に紛失しないよう注意してください。

## 【韓国の空港のホームページ】

- 仁川空港 <http://www.airport.kr/jpn/airport/index.jsp>
- 金浦空港 [http://www.airport.co.kr/doc/gimpo\\_jpn/index.jsp](http://www.airport.co.kr/doc/gimpo_jpn/index.jsp)

★予約が確定しましたら、ウリドゥル病院のホームページの、「診療申込み方法」の「到着日・到着時間の連絡」の欄にあるフォームを使って、病院までご連絡ください。

# 宿泊ホテルの手配

患者様が1人で来られる場合には、基本的にはホテルの予約は必要ありません。ただし、検査の前日に韓国に入られる場合には、ホテルの予約が必要になります。

また、付き添いの方がおられる場合には、病室内にある簡易ベッドで寝ていただくか、宿泊のためのホテルを予約する必要があります。

注) 付き添いの方が来られなくても、手術後1～2日間、現地の付き添いの人を頼むという方法もあります。

## ■ソウル金浦空港ウリドウル病院

ソウル金浦空港ウリドウル病院は、金浦空港の出国者出口から無料空港循環バスに乗り、E-Mart(Eマート:ショッピングセンター)で下車してください。バスは5～15分おきに出ています(所要時間3分)。

地下鉄5号線の金浦空港駅(駅番号512)または地下鉄9号線金浦空港駅(駅番号902)の1番出口から徒歩5分のところにあります。

病院近くのホテルには、「メイフィールドホテル」があり、ホテルと金浦空港間の往復シャトルバスがあります。

ウリドウル病院では、「メイフィールドホテル」と提携しており、希望者には予約サービスを行っています。支払いはホテルでの精算になります。

## ■ソウル清潭ウリドウル病院

ソウル清潭ウリドウル病院は、地下鉄7号線の清潭(チョンダム)駅(駅番号729)の8番出口を出た目の前にあります。

最も近いホテルは、「リベラホテル」と「プリマホテル」で、徒歩1km圏内にあります。

ウリドウル病院では、「リベラホテル」(<http://www.hotelriviera.co.kr>)、

「プリマホテル」(<http://www.prima.co.kr/>)と提携しており、希望者には予約サービスを行っています。支払いはホテルでの精算になります。

※移動にタクシーや地下鉄を使うのであれば、必ずしも病院に近いホテルにする必要はありません。

患者様または家族の方が自らホテルを予約される場合には、日本の旅行代理店のサイトや、韓国観光公社が紹介しているホテル予約サイトから予約できます。

主なホテル予約サイト

### 【日本の旅行代理店】

- JTB <http://www.jtb.co.jp/index.asp?t=2>
- 近畿日本ツーリスト <http://www.knt.co.jp/kaigai/index.html>
- 日本旅行 <http://www.nta.co.jp/kaigai/>
- HIS <http://www.his-j.com/index.html>
- 楽天トラベル <http://travel.rakuten.co.jp/kaigai/area/korea/>
- Yahoo!トラベル <http://travel.yahoo.co.jp/>

### 【韓国ホテル予約サイト】

- ガイド코리아 (Guide KOREA) <http://www.guidekorea.com/main.asp>
- コネスト코리아 (Konest KOREA) <http://www.konest.com/data/home.html>
- ソウルナビ <http://www.seoulnavi.com/>

# 韓国への入国と出国

## 韓国への入国手続き

1.到着	機内で予め「入国カード(ARRIVAL CARD)」と「旅行者携帯品申告書」を記載。 飛行機を降りたら、入国審査エリアまで移動します。	入国カードの記載事項 ①名字(ローマ字) ②名前(ローマ字) ③名字と名前(漢字) ④生年月日(西暦) ⑤性別(男または女をチェック) ⑥国籍:JAPAN ⑦パスポート番号 ⑧韓国内住所: Wooridul Spine Hospital (TEL 02-2660-7695) ⑨職業: ・会社員 Office Worker ・公務員 Government Employee ・主婦 Housewife ・学生 Student ・サービス業 Service job ・自営業 Self-employed ・無職 Without occupation ⑩旅行目的: Spine surgery ⑪出発地(空港名をローマ字) ⑫便名 ⑬署名(パスポートと同じサイン)
2.検疫	検疫が必要なもの(ペットや果物、植物など)を所持している場合やコレラ、ペストなどの感染地域から入国する場合は検疫質問書に記入した後、審査カウンターに提出します。	
3.入国審査	「外国人」カウンターに並び、自分の順番が来たらパスポートと入国カード(ARRIVAL CARD)を審査員に提出して入国審査を受けます。入国カードは未成年者の場合でも1人1枚作成。 また、外国人登録証を所持する外国人は必要ありません。	
4.手荷物受け取り	入国審査カウンター前の掲示板で、自分が乗ってきた便の荷物がどこから出てくるかを確認し、該当する手荷物受け取り台へ。日本を出国する際に預けた荷物を受け取ります。	
5.税関検査	韓国に入国するすべての旅行者は、「税関申告書」の提出が義務付けられています。記入する内容は名前やパスポート番号などの基本的な情報のほか、携帯品に関する事項とその他の申告事項などで、旅行者1名につき1枚提出します。 記載した税関申告書は税関検査を通過する際に係員に渡し、検査を受けます。 ・申告する必要がある場合には赤色の通路に進んで申告手続き。 ※税関申告書には韓国語・日本語・英語・中国語があります。	

## 韓国からの出国手続き

1.チェックイン	利用する航空会社の搭乗手続きカウンターに行き、航空券とパスポートを提示して搭乗券を受け取ります。この時機内持ち込み手荷物以外の荷物を預けますが、重量や大きさについてはそれぞれ異なりますので、規定については航空会社にお問い合わせください。
2.手荷物検査	出国ゲートに入ったら手荷物検査とボディーチェックを受けます。
3.出国審査	外国人用の出国窓口に並び、順番が来たらパスポートを係員に渡し審査を受けます。
4.飛行機に搭乗	出国審査を終えたら免税店やラウンジなどがあるエリアです。予め搭乗口の位置を確認し、搭乗開始時刻までは休憩やショッピングをお楽しみください。

# 来院方法

韓国での到着地は、**仁川国際空港**または**金浦空港**(出発地が羽田空港の場合)になります。

日本の患者様が治療を受けられる病院は、**ソウル金浦空港ウリドゥル病院**または**ソウル清潭ウリドゥル病院**です(希望される患者様は、**釜山ウリドゥル病院**も可能です)。

治療を受けられる日本の患者様(同伴者含む)は、用意した客車で病院までお連れいたしますので、基本的に移動の手配は不要です。

患者様だけで直接病院に来られる場合の、空港から病院までの交通アクセスは以下の通りです。

## ●仁川国際空港→ソウル清潭ウリドゥル病院

- ①リムジンバス+タクシー:リムジンバスは606、600番のバスに乗ってCOEX/貿易センターで降ります。  
COEX/貿易センターからタクシーで約8分です。
- ②地下鉄:仁川国際空港から空港鉄道(AREX)に乗る  
→金浦空港駅(駅番号なし)で地下鉄9番線(新論岷方面行)に乗り換え  
→高速ターミナル(駅番号923)で7番線(道峯山方面行)に乗り換え  
→清潭(駅番号729)で下車し8番出口の目の前に病院がある(最も乗り換えが少ない方法です)。
- ③タクシー:所要時間約1時間、金額約6~7万ウオン以上

## ●金浦空港→ソウル清潭ウリドゥル病院

- ①リムジンバス+タクシー:リムジンバスは606、600番のバスに乗ってCOEX/貿易センターで降ります。  
COEX/貿易センターからタクシーで約8分です。
- ②地下鉄:金浦空港(駅番号902)から地下鉄9番線(新論岷方面行)に乗る  
→高速ターミナル(駅番号923)で7番線(道峯山方面行)に乗り換え  
→清潭(駅番号729)で下車し8番出口の目の前に病院がある(最も乗り換えが少ない方法です)。
- ③タクシー:所要時間約40分、金額約5~6万ウオン以上

## ●仁川国際空港→ソウル金浦空港ウリドゥル病院

- ①地下鉄:仁川国際空港から空港鉄道(AREX)に乗る→金浦空港駅(駅番号なし)で下車します。  
金浦空港から徒歩で約5分以内です。
- ②タクシー:所要時間約20分、金額約3万5千ウオン以上

## ●金浦空港→ソウル金浦空港ウリドゥル病院

金浦空港から無料空港循環バスに乗り、E-Martで下車(5~15分おき・所要時間3分)。

# 病院案内

## ソウル金浦空港ウリドゥル病院



ソウル市江西区 果海洞676

3階	オペルーム、回復室、消毒室、3病棟、学術研究チーム、研究室、集中治療室、職員食堂
2階	専担看護チーム、2/1病棟、2/2病棟、2/3病棟、医療情報チーム、保存療法治療室、授乳室
1階	案内デスク、薬局、院務支援部、サイバーナイフ、映像医学科、健康診断、診断検査医学科、入院準備室、診療室、内科、PET-CT
地下1階	防災室、施設運営部

## ソウル清潭ウリドゥル病院



ソウル市江南区清潭洞47-4

16階	ゼミルーム
15階	研究室、会議室
14階	14病棟(1401～1413号)
13階	13病棟(1301～1313号)
12階	12病棟(1201～1207号)、看護チーム
11階	オペルーム、麻酔チーム
10階	オペルーム、麻酔チーム
9階	オペルーム、麻酔チーム
8階	8病棟(801～807号)
7階	7病棟(701～708号)
6階	6病棟(601～607号)
5階	5病棟(501～508号)
3階	診療室、入院準備室、授乳室、おむつ変え
2階	統大院務支援部、薬製科、 <b>国際患者センター(WIPC)</b>
1階	ロビー、駐車場、メディコア、コンビニ
地下1階	映像医学室、診断検査医学科、心臓検査室
地下2階	統合物流在庫管理部、落し物保管所

# ウリドゥル国際患者センター(WIPC)

- ウリドゥル国際患者センター(Wooridul International Patient Center: WIPC)は、脊椎疾患の検査、診断、治療のために来院された国内、国外居住の日本人の患者様に、安心かつ迅速なサービスを提供しています。
- 近年、世界的なウリドゥル病院の評価が大きく上昇したことで、国外から脊椎疾患の診療のために来院される外国人患者様の数も大幅に増加してきました。そのためウリドゥル病院では、外国人患者様が安心して来院でき、来院された患者様に対して質の高いサービスを提供できるよう、2006年1月にウリドゥル国際患者センターを開設いたしました。
- 国際患者センターは、ソウル金浦空港ウリドゥル病院の1、3階フロア、ソウル清潭ウリドゥル病院の2階フロアにあります。  
ここでは日本語に加えて、英語、ロシア語、中国語、フランス語など各種外国語の通訳サービスを行っています。
- 日本人患者様には、日本語が話せる担当職員が、診療申込み時および退院後の事務対応(電子メール、電話、ファックス等による連絡および相談)および患者様の入院期間中の対応(通訳、施設案内、各種連絡および相談など)をいたします。
- 患者様は、病院に到着したら、最初に国際患者センターで受付をしていただきます。後は日本語が話せる担当者が案内いたします。
- 国際患者センターは、日本の患者様が入院されている間の対応をさせていただきます。検査時や診察時など通訳が必要な時には必ず同伴するようにいたしますが、患者様が病室で休まれているときは、部屋に戻りますので、用件があるときには担当者に電話していただくか、直接国際患者センターまでお越しください。

## ウリドゥル国際患者センター(WIPC)

### ソウル金浦空港ウリドゥル病院

ソウル市 江西区 果海洞676

TEL : +82-2-2660-7695

FAX : +82-2-2660-7690

E-mail : [wipc@wooridul.co.kr](mailto:wipc@wooridul.co.kr)

<http://www.wooridul.jp>

### ソウル清潭ウリドゥル病院

ソウル市 江南区 清潭洞47-4

TEL : +82-2-513-8452

FAX : +82-2-513-8454

E-mail : [wipc@wooridul.co.kr](mailto:wipc@wooridul.co.kr)

<http://www.wooridul.jp>

# 病室案内

日本人の患者様の部屋は、特別にご用意したシングルルームになります(部屋面積 35.6m<sup>2</sup>)。



(写真:ソウル金浦空港ウリドウル病院)

※病室の状況により他の部屋になることもあります。

## 【病室内の設備】

- ・電動ベッド
- ・エキストラベッド(付き添いの方の宿泊用)
- ・テレビ(32インチ液晶)
- ・電話
- ・冷蔵庫
- ・バスルーム(シャワー付)
- ・セーフティボックス
  
- ・スリッパ
- ・毛布
- ・入院服(パジャマ)
- ・洗面セット
- ・ティッシュペーパー

※設備の使い方は、国際患者センターの担当者または看護師が説明いたします。

# 病院内のコミュニケーション

病院では、患者様と病院側の意思の疎通を図るためのツールとして、コミュニケーションブック(全14ページ)を用意しています。国際患者センターの担当者が不在の場合には、これを使用し言葉を指さすことでお互いの考えを伝え合うことができます。

コミュニケーションブック 見本1

## 患者様の症状

### 病院

治療した疾患の症状について教えてください。  
치료를 한 질환의 증상에 대하여 알려 주십시오.

### 患者様

症状を説明するときには、この表をご使用ください。

時期	部位	症状	症状の程度
●いつも 언제나	●全身 전신	●痛い 아프다	●我慢できない 참을 수 없다
●寝た時 누워 있을 때	●手術部位 수술부위	●つっぱる 쥐가 난다	●非常に強い 매우 심하다
●立った時 서 있을 때	●点滴部位 수액부위	●しびれる 저린다	●強い 심하다
●座った時 앉아 있을 때	●頭 머리	●だるい 나른하다	●多少ある 다소 있다
●歩いている時 걸을 때	●頸 경추	●感覚がない 감각이 없다	●特にありません 특별히 없습니다
●体を動かした時 몸을 움직일 때	●のど 목	●熱い 뜨겁다	
●さわった時 만졌을 때	●肩 어깨	●冷たい 차갑다	
●水を飲んだ時 물을 마셨을 때	●腕 팔	●かゆい 가렵다	
●食事の時 식사 할 때	●手の指 손가락	●動かみにくい 움직이기 어렵다	
	●背中 등	●むくみ 붓기	
	●腰 허리		
	●足 다리		
	●足の指 발가락		

## 診療に関する説明

### 病院

- 食後に、この薬をぬるま湯で飲んでください／식수에 약을 미지근한 물에 드십시오

薬の種類は、  
약의 종류는

- 抗生物質／항생물질
- 消炎鎮痛薬／소염진통약
- 合併症治療の薬／합병증 치료약

- 点滴をする腕を変えます／수액하는 팔을 바꾸겠습니다

- 点滴の管／수액 관
- ドレーン／드레인
- 採尿器／채뇨관

をはずします  
을 제거하겠습니다

- 緊急の時は、このボタンを押してください／긴급 시에는 이 버튼을 눌러 주십시오

- ベッドの動かし方を説明します／침대의 작동법을 설명하겠습니다

- 部屋の明かりのつけ方を説明します／방의 전등 스위치를 설명하겠습니다

- シャワーとトイレの使い方を説明します／샤워와 화장실의 사용방법을 설명하겠습니다

- ゴミ箱の使い方を説明します／쓰레기통의 사용방법을 설명하겠습니다

- 食器の置き場所を説明します／식기의 반납 장소를 설명하겠습니다

### 患者様

- わかりました／알겠습니다
- もう一度説明してください／다시 한번 설명해 주십시오

# 入院生活

---

## 【補助器の購入】

施術・手術を行う前に、術後に着用する補助器(カラー、コルセットなど)を販売店で購入していただきます。購入費用は、入院費に含まれています。販売店には、国際患者センターの担当者が案内いたします。

---

## 【回診時間】

通常は午前8時から午前9時30分までと午後5時から午後8時までです。ただし、手術及び診療を受けている患者様が多い場合は多少時間がずれることがあります。主治医との別の相談を希望する患者様は、国際患者センターの担当者または看護師にお知らせください。

## 【食事時間】

朝食は午前7時15分、昼食は12時15分、夕食は午後5時15分です。時間になると係の者が食事を病室に運んできます。食べ終わりましたら患者様が指定の場所に食器を返却してください。ソウル金浦空港ウリドゥル病院は2階、ソウル清潭ウリドゥル病院は1階に売店がありますので、そこでスナック菓子や飲み物を購入して、飲食してもかまいません。外部からの食事の持込は、食中毒や感染の危険性があるため禁止しています。

## 【面会時間】

一般病室は午前8:00から午後10:00までです。患者様の容態によって面会が制限される場合もあります。

## 【外出】

外出を希望される患者様は看護師に申し込んでください。担当医師が患者様の調子を見て許可を出します。許可を受けるときに簡単な手続きがあります。許可を得ずに勝手に外出し、問題または事故が起こった場合には、病院は一切責任をとりません。外出の際には、すぐに連絡が取れるよう携帯電話の番号を必ず担当の看護師にお伝えください。

### 【ゴミ捨て】

ゴミを捨てるときは一般ゴミと病院ゴミを区別して捨ててください。

血がついている綿やガーゼなどは病室の中にあるアルコール綿専用のゴミ箱に捨ててください。

### 【喫煙・飲酒】

患者様の健康のため病院内は禁煙、禁酒となっています。なお、付き添いの方が喫煙される場合には、病院の外に喫煙所があります。

### 【飲料水】

病室階のエレベーターの前に給水器があり、水とお湯が別々に出ます。

水道水は硬水なので、飲まないでください。洗顔や歯磨きに使用することは問題ありません。

### 【部屋の清掃】

床などを掃除するために、1日に数回掃除婦が部屋の中に入ります。患者様は何もせず、そのまま任せておいてください。

### 【貴重品の管理】

病院内は人の出入りが多く、盗難事故が起こることもありますので、貴重品はセーフティボックスに保管してください。

### 【携帯電話】

携帯電話は病室内でご使用ください。病院の医療設備の誤作動を防ぐため、また他の患者様の迷惑になることがありますので、病室外では携帯電話を使用しないでください。

### 【コインランドリー/クリーニング】

コインランドリー、クリーニングとも病院内にはありません。付き添いの方がクリーニングを希望される場合は、宿泊先のホテルで行ってください。

### 【その他】

火災を防ぐため、電熱器具及び引火物質の持込みはできません。

★入院中に、不明な点や困ったことがあった場合には、気軽に国際患者センターの担当者にお声をかけてください。

# 退院

## 【退院時にお渡しするもの】

- ①術後の注意事項
- ②リハビリプログラム(必要な場合)
- ③薬(消炎鎮痛薬、抗菌薬など)
- ④診療依頼書(日本で診療を受けるときに、必要な場合には申し込んでください。)
- ⑤保険会社に提出する書類(依頼された患者様のみ)

※入院患者様には、画像写真(術前・術後のすべての写真画像)のデータCDを提供できます(無料)。

## 【治療費の精算】

退院時に、治療費の精算をしていただきます。場所は国際患者センターの担当者が案内いたします。

お支払い方法は、**クレジットカード**または**現金(円)**になります。

クレジットカードでお支払いの場合にはカード会社に支払い限度額をご確認の上、1枚のカードで支払えない場合には、複数のカードをご用意ください。

現金でお支払いの場合には小銭がない場合がありますので、事前にお知らせください。

領収書は、日本語で発行いたします。

## 【車の手配】

患者様の退院時間に合わせて空港行きの客車を手配いたします。

なお、同じ飛行機で日本に帰国される患者様が複数おられる場合には、相乗りとさせていただきます。

## 【日本人の保険適応について】

### ① 韓国滞在の日本人

- ・韓国国内で暮らす日本人の場合は韓国人と同様に韓国の国民健康保険が適用されます。

### ② 治療目的で訪韓した日本人

- ・治療を目的として入国した日本人の患者様は韓国の国民健康保険が適用されません。
- ・日本の国民健康保険では、海外滞在中に病気やケガで治療を受けた時に、後で医療費の一部が払い戻される「海外療養費制度」がありますが、治療を目的とした海外渡航の場合には支給対象とはなりません。
- ・日本の国民健康保険では、月額医療費が一定額以上になったときに、後で超えた分の医療費が払い戻される「高額療養費制度」がありますが、保険外診療の部分は支給対象とはなりません。
- ・プライベート保険に加入している患者様で、保険会社から治療費が支払われるような場合には、必要書類を持参の上、病院に申し込んでください。病院の院務課で必要事項を記入し、退院時にお渡しいたします。

# 退院後

---

退院後には以下のことを行ってください。

## 【術創の消毒】

医師の指示により異なりますが、一般的には手術後2日に1回の消毒が必要です。

## 【抜糸】

施術の患者様は、絆創膏を10日後に剥がすだけで結構です。

手術の患者様は、7～10日後に自宅の近くの医療機関で抜糸を行ってください。

## 【薬の服用】

退院時に処方された薬は、飲み忘れのないよう必ず服用してください。

## 【注意事項の遵守】

退院時にお渡しする術後の注意事項をよく守り、体に無理がかからないよう心がけてください。

## 【術後診断】

指定された時期に、日本の医療機関で画像写真を撮影してもらい、フィルムまたはデータCDを下記の日本の代行業者にお送りください(木曜日の午前中に着くよう時間指定をお願いします)。診断結果をメールで連絡いたします。

ウリドゥル病院で診療を受けていただいても結構です。ホームページの「診断の申込み」の欄の一番下に、術後診断の申込みのフォームがありますので、そこからお申込みください。診察は午前中に終わりますので、韓国観光を兼ねて来院していただくのも良いかもしれません。病院診療の費用は約5万ウォンです。

[画像写真送付先]

株式会社ウリ企画

〒203-0032 東京都東久留米市前沢2-11-17 下田ビル3F

TEL: 042-446-8576

# 医療費控除

1年間に本人または家族が支払った医療費が10万円を越える人は、確定申告をすれば税金の還付が受けられます。

ウリドゥル病院での治療費、海外渡航費、補助器購入費は、すべて医療費控除の対象となりますので、必ず領収書を保管しておいてください。

## 【医療費控除】(国税庁ホームページより引用)

### 1.医療費控除の概要

自分自身や家族のために医療費を支払った場合には、一定の金額の所得控除を受けることができます。これを医療費控除といいます。

### 2.医療費控除の対象となる医療費の要件

(1)納税者が、自分自身又は自分と生計を一にする配偶者やその他の親族のために支払った医療費であること。

(2)その年の1月1日から12月31日までに支払った医療費であること

### 3.医療費控除の対象となる金額

医療費控除の対象となる金額は、次の式で計算した金額(最高で200万円)です。

$(\text{実際に支払った医療費の合計額} - \text{イの金額}) - \text{ロの金額}$

イ 保険金などで補てんされる金額

(例)生命保険契約などで支給される入院費給付金、健康保険などで支給される療養費・家族療養費・出産育児一時金など

ロ 10万円 (注)その年の所得金額の合計額が200万円未満の人はその5%の金

### 4.控除を受けるための手続

医療費控除に関する事項を記載した確定申告書を提出してください。

その際、医療費の支出を証明する書類、例えば領収書などについては、確定申告書に添付するか、提示してください。

また、給与所得のある方は、このほかに給与所得の源泉徴収票(原本)も付けてください。

国税庁ホームページ <http://www.nta.go.jp/taxanswer/shotoku/1120.htm>

## 韓国の情報 (韓国観光公社ホームページ等より引用)

### 【位置】

韓国は北緯33-43度、東経124-132度の間にあり、アジア大陸の北東部に位置しています。標準時正午線は135度で世界標準時より9時間早く、日本との時差はありません。

総面積は222,135km<sup>2</sup>で、イギリス、ニュージーランド、ルーマニアとほぼ同じくらいの広さですが、このうち南韓(韓国)が99,461km<sup>2</sup>(45%)で、北韓(北朝鮮)が122,762km<sup>2</sup>(55%)となっています。山岳地帯は国土の70%を占め北部と東部に密集し、平野は主に西部と南部に広がっており、三方の海には3400ほどの島があります。



### 【気候】

韓国は北半球の中緯度上に位置しているため四季がはっきりと分けられる冷温帯気候。夏は暑く雨が多い反面、冬は寒く降水量は少ない方ですが、南北に長い地形のため南下するにつれ海洋性の温和な気候になります。

#### 春

3月下旬に済州島から桜前線が北上し、ソウルでは4月中旬頃桜が見られます。桜の他にもレンギョウ、つつじなどが野山を彩ります。暖かな陽気が続きますが、気圧の差によって黄砂現象やフェーン現象も見られます。

#### 夏

6月から9月初めまでは高温が続き、特に7月中旬から8月中旬までは海や山などが多くの行楽客で賑わいます。熱くなった地表熱による上昇気流のせいでにわか雨も多くなりますが、6月下旬から7月にかけては本格的な梅雨の季節となります。

#### 秋

9月から11月までは昼と夜の気温差が激しく長雨や台風などの被害もありますが、全般的に快適で過ごしやすい季節です。紅葉は10月上旬ごろから雪岳山で始まり、11月にはソウルでも楽しめるようになります。

#### 冬

12月から3月中旬まではシベリアからの寒波のため寒さの厳しい季節。山岳地帯では雪も深く、スキーなどのウィンタースポーツも盛んです。

ソウルの平均気温と平均降水量

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均気温 (°C)	-2.5	-0.3	5.2	12.1	17.4	21.9	24.9	25.4	20.8	14.4	6.9	0.2
平均降水量 (mm)	22	24	46	77	102	133	328	348	138	49	53	25

### 【通貨】

通貨単位: ウォン(W)

紙幣: 50,000ウォン、10,000ウォン、5,000ウォン、1,000ウォン

硬貨: 500ウォン、100ウォン、50ウォン、10ウォン

両替レート: 1,000円が約7,700~16,000ウォンで変動

### 【クレジットカード】

ほとんどの食堂や商店で使えますが、小さな商店や地方のお店では使えないこともあります。クレジットカードの使用可否は入口に貼ってあるマークで確認してください。

韓国で一般的に通用しているカードは「ビザ」と「マスター」です。

### 【税金】

通常は料金にすべての税金が含まれているので、値札に表示されている金額だけを支払います。

しかし、特級ホテルのレストランなど高級な店の場合、メニューに書かれている価格に10%の付加価値税が含まれていない場合もあります。また、価格の10%をサービス料として受ける場合もあります(代わりにチップは必要ありません)。

### 【チップ】

韓国では通常チップはありません。しかし、高級レストランやホテルでは基本料金にサービス料10%を付加する場合があります。この場合は一般的に支払い金額にサービス料が含まれており、特にチップを準備する必要はありません。

### 【飲料水】

水道水は硬水なので飲まない方が無難です。洗顔や歯磨きには問題ありません。コンビニなどで各種ミネラルウォーターが販売されています。

### 【電圧】

韓国では110Vと220Vの2種類の電圧が使われていますが、多いのは220Vです。コンセントの形も異なり、先が丸いCタイプとSEタイプですので、日本の電気製品を使う場合はアダプターと変圧器が必要です。

## 【タクシー】

韓国のタクシーは地下鉄と共に旅行者には利用しやすい交通手段です。タクシー乗り場が設置されているエリアもありますが、日本と同様に手を上げて走っているタクシーを捕まえるのが一般的です。日本と同様フロントガラスのところに「空車」なら「빈차」と表示が出ており、賃走の場合にはその表示が消える仕組み、「예약」と表示されていたら予約車ですので乗車することはできません。また、ドアが自動ではないので、自分でドアを開けて乗り降りしなければなりません。

### ●タクシーの種類

韓国のタクシーで最も一般的に利用されているのが、白やシルバーの車体の「一般タクシー」と、黒塗りで2000CCクラスの大型車の「模範タクシー」です。模範タクシーはサービスも行き届いており、日本語が通じる運転手の場合もあります。その他8人乗り車両を使った「ジャンボタクシー」もあり、5～6人のグループ旅行などで1日貸し切りで利用されたりしています。

### ●タクシー料金

一般タクシー：初乗り2キロ1900ウォンで、その後時間や距離によって100ウォンずつ加算されます。  
模範タクシー・ジャンボタクシー：初乗り3キロ4500ウォンで、200ウォンずつ加算とされます。

### ●Free Interpretationステッカー

目的地を告げる場合には住所や名前がハングルで書かれたものを見せるのが一番です。漢字や英語での表記は正確に伝わらない場合があります。

言語による意思疎通の問題を解決しようと、大都市では同時通訳システムを兼ね備えたタクシーも運行中で、「Free Interpretation」と書かれたステッカーの貼ってあるタクシーでは携帯電話を使って案内センターで待機している通訳者と3者で会話ができます。また模範タクシーには日本語が出来る運転手がいることもあり、そうした車両には「Visitors guide JAPANESE」と書かれています。

#### 【参考】韓国の詳細情報を紹介している主なサイト

- 韓国観光公社 <http://japanese.tour2korea.com/index.asp>
- ソウルナビ <http://www.seoulnavi.com/>
- コネスト코리아 (Konest KOREA) <http://www.konest.com/data/home.html>
- 地球の歩き方 <http://www.arukikata.co.jp/country/korea.html>

# ウリドゥル病院の地図

(タクシーを使用するときに、ご利用ください)

## 서울김포공항 우리들병원 ソウル金浦空港ウリドゥル病院

서울시 강서구 과해동 676

ソウル市 江西区 果海洞676



## 서울 강남 우리들병원 ソウル清潭ウリドゥル病院

서울시 강남구 청담동47-4

ソウル市 江南区 清潭洞47-4

